



# おもちゃ箱なご 事業者における児童発達支援自己評価結果

公開日：2025年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		支援員が児童を見守りやすい配置になっています。	スペースは十分だと思います。壁の色などを工夫して安心感ある空間していきたいです。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		適切です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			玄関に段差がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		個室もあるので状況により使い分けている。	環境整備を施し気持ちよく過ごせるように配慮していく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		感覚過敏への配慮、クールダウンの為、着替えの為の部屋を用意している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2		保護者の意見を把握して改善すべき点を話し合い改善につなげている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		個別面談やミーティングで意見を共有している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		外部評価は行っていない改善していきたい
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部研修の受講機会・法人内での研修を定期的に実施している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		作成・公表している。	作成・公表している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		保護者や子供からしっかりとアセスメントを取り相談員が作成する利用計画をもとに作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		定期的にケース会議を行い共有している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		定期的にケース会議を行い子どもの変化を話合っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	フォーマルなツールとインフォーマルなツールを使用している	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	踏まえたうえで支援内容を設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		職員でプログラムを話し合い検討している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		子供たちの意見も取り入れている	活動がマンネリ化にならないように職員で話し合い新しい活動を取り入れる。子供たちの意見も取り入れている
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		保育園にも通っているので個別活動を中心に音楽・アート・運動を取り入れている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		支援前に毎日ミーティングを設け情報を共有している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		送迎や日誌の記入で時間が確保できない時もあるができるだけ時間を持つようしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援の内容に対する子供の反応や課題を記録している。ミーティングで振り返りしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		相談員さんを中心に定期的にモニタリングを行い事業所に持ち帰り見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		定期的に行われる会議に参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	4		取れている機関もあるが来ていない機関もある
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		相談員さんを介したモニタリング会議で情報を共有している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		相談員さんを介したモニタリング会議で情報を共有している	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		7		設けてない
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		保育園に通っているので午後からは大きな集団に入っている	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		ラインや電話等のツールを使用して話をしている	内容を忘れないように必ず記録しておく
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			外部からの研修を情報提供することはある
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2	契約時に行っている	

保護者への説明等	33	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		相談員さんを介してモニタリング会議の中で家族の意向を確認している	
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	2		説明を行い同意を得ている
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	2		電話やラインで相談に乗ることもあるが事業所に来てもらい話を聞いている。安心して話せるように共感しながら聞いている。
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4		保護者が集まる機会を今年度は1回だったのもう少し増やしたい
	37	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			保護者が気軽に相談できる環境を整え職員の相談に対するスキルを上げていく
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			定期的にお便りの発行・ブログで活動内容を発信している
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			個人情報に関するものは鍵付きの保管庫へSNSへの写真の掲載を確認している
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			モニタリング等で個別支援計画や目標などを共有している。わかりやすい言葉で説明している
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		今後開催できるように計画していく。近所の付き合いはしている
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			事業所の方には設置しているが保護者の方には広くは周知できていない
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	4		訓練の回数を多くしたい。状況に応じた対応を習慣化する
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			アセスメントをしっかりと児童の状況を把握職員で共有している
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			契約時や必要に応じてアセスメントで聞き取りをしている
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	4		安全計画は作成しているが職員に対する研修会が少ないのでもう少し回数を増やしたい
	47	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	4		安全計画は作成しているがその内容を伝えられていない非常時の対応等徹底していきたい。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		作成して職員で共有している	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		外部研修や社内研修をしています。	

	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		契約時、支援計画の更新時に身体拘束が必要そうな児童の保護者について説明を行っている
--	----	--	---	--	---